

■ 十和田湖温泉郷 微振動問題

10月25日に放送され

た日本テレビ系「The e突破ファイル」初回SP」をご覧になった

だろうか。「巷のピンチな実話をドラマ化、それをどのように突破(解決)したのかをクイズ形式で答えるバラエティー番組」客足

激減。温泉街を襲った謎の揺れを暴け!」と題されたドラマの元ね

たは、2000年の「十和田湖温泉郷微振動問題」だった。

同年5月13日、十和田湖焼山の某旅館に突

如、謎の振動が発生。客や従業員、周辺住民

が避難する騒ぎに。翌日、避難解除となる

が、その後も繰り返し振動。原因は何か。

再現ドラマでは旅館の若おかみ役に朝ドラ

などで人気の徳永えり、振動を調べる八戸大(仮名)教授役に最近

注目の酒匂芳。この2人のやりとりが軽妙で、再現ドラマを超え

て、再現ドラマを超え

た面白さとなっていた。本ドラマには本紙も

当時の記事を提供。監修は八戸市の騒音問題

総合研究所代表で元八戸工業大教授の橋本典

久が担当した。「ドラマは期待しましたが、

工学部の教授が調査し、「何らかの低周波

原因究明 再現ドラマに

続
おらホが主演だ!

南部愛こそすべて

〈31〉

旅館で調査する橋本典久と学生たち(下)。八工大退職パーティーでの橋本(2017年3月)



低周波調査を開始

微動問題で橋本教授(左)

十和田湖温泉郷の旅館で調査する橋本典久と学生たち(下)。八工大退職パーティーでの橋本(2017年3月)



調査器材を操作する八戸工業大学の橋本典久教授(左)

民に不安が広がった。

こうして、振動の原因究明に音環境専門の

八戸工業大建築工学科教授・橋本が乗り出し

た。橋本は当時48歳。学生らと旅館に泊まり

込み測定を続け、ついに謎を暴いた。

原因は現場近くの立

石ダムの放流だった。放流音が山に反響、移

流霧による温度の逆転、さらに無風という

気象条件が重なり極めて珍しい超低周波を作

り出していたのだ。6月9日、十和田湖町町

長の渡部毅は改めて安全を宣言し、微振動問題

は約1カ月で解決した。

それから18年。渡部

は93歳。「風評被害が心配だったが八工大の

※敬称略

(石橋春海)ライター

1、八戸市出身、横浜

市在住)